

2月の活動内容報告

ビーバー(BVS)隊



2/3 中野5団で行われたお餅つきに参加しました。まずは大人の方がお餅をついていい状態になったものをつかせてもらいます。子どもの力はあまり強くはないけれど、みんなで順番についたらおいしいお餅



になりました。その後はお父さんたちが大活躍。たくさんのお餅をついていました。蒸かしたお米がこんな風にお持ちになるんだ！と改めて気が付くことができました。いろいろな味になった美味しいお餅をお昼ご飯にいただいた後は、5団カブ隊のお兄さんと一緒に節分の豆まきをして、一緒にゲームもして遊びました。



2/17 「工作おやし」登場！元スカウト保護者の久保さんがお手伝いに来てくださいました。四角い木材を組み合わせてパズルを作りました。綺麗にきちんと接着させるにはちょっとコツが要りましたが、説明



をきちんと聞いて、みんな上手に作ることができました。その後はそのパズルを使って立方体を作ってみました。大人でもなかなか知恵をしぼるパズルでした。最後に好きな形にして品評会をしました。

カブ(CS)隊



2/3 今月はチャレンジ章取得月間。今日の集会では「救急博士」を目指します。ベンチャースカウトのT君・S君の指導の下、三角巾の使い方を練習しました。三角巾というと、骨折した腕を吊るイメージが強いですが、折り畳んで包帯として使うこともできます。手のケガ、足のケガ、頭のケガといろいろな場合の三角巾包帯の巻き方を学びました。後半は、パインウッドダービー中8大会を行いました。本物のダービーでは中野8団スカウトの車はスピード負けしてしまいましたが、



今回の中8大会は独自ルールです。手で車を押し出して、目標ポイントにどれだけ近づけられるかを組対抗で競いました。



2/24 チャレンジ章「災害救助員」の取り組みのきっかけとして墨田区にある本所防災館へ行きました。防災館に行く前には、両国にある東京都慰霊堂に寄りました。ここは関東大震災の火災と東京大空襲で亡くなった方たちの冥福を祈るために建てられたものです。ここで、火災の怖さを知った後、防災館で様々な災害の疑似体験をしました。地震だけでなく、火災、水害の恐ろしさも体験できました。



2/4 今回の月の輪集会では、室内だけでなく、外で本格的な技能訓練です。歩測やロープ結び、国旗掲揚練習を行いました。人数が集まれば、楽しくなりますね。あっという間に、時間が過ぎてしまいました。さて、いよいよボーイ隊に合流するまで、残り1回となりました。ボーイに上進した自分を想像できるようになりましたか。最後の仕上げです。元気に参加してください。

ボーイ(BS)隊



2/2 F 上級班長の呼びかけで班長会議を開催し、R.K.くんの菊章認定が行われました。

2/3 班会議を行いました。前月、世田谷地区有志団と合同の30キロオーバーナイトハイクに参加しましたが、そこで昨年度の準優勝カップを返還しなくてはなりませんでした。ところが誰の家にもなく、紛失してしまったことが判明しました。このため、スカウト達によってその原因をはっきりとさせて、二度とこのようなことが無いように対策を立て、同時に世田谷有志団へのお詫び状を作成しました。



午後は、Kくんの菊章団面接会が開催され、菊章にふさわしい立派な受け答えをして見事に合格しました。あとはあすなろ地区の面接だけです。

2/17 班会議を行い、3月末に行われる春キャンプについて話し合いをしました。釣りをしたいという希望が出ていたのでそれをテーマに選定したのはよかったのですが、それを行いキャンプをする良い場所が見つかりません。次回の班会議までに決めるように、スカウト達が自分たちで調べてくることになりました。

ベンチャー(VS)隊



2/3 TくんとSくんがカブ隊組集会を支援しました。またFくんとSくんが、午後から月の輪コートとして活躍しました。

2/17 Fくんが、ボーイ隊班集会を支援しました。Sくんはビーバー隊隊集会を支援しました。

2/22,23,27 TくんとFくんがプロジェクト会議を行いました。Tくんのプロジェクト報告書作成及び、隼スカウト章面接会の練習を行いました。

2月のスカウト進歩情報

| | | |
|------|----------|----------|
| BVS: | S. S. さん | 小枝章 4 枚目 |
| | R. T. くん | 小枝章 2 本目 |
| | A. T. くん | 小枝章 3 本目 |
| CS | H. A. さん | くま章 |
| | J. K. さん | くま章 |
| | M. M. さん | うさぎ章 |

とびっくす

今年度、中野8団から富士スカウトが誕生しました！昨年末のさよならパーティーでも団委員の方々から記念品の表彰がありました。春になった現在でも表彰ラッシュは止まりません。それもそのはず、いくつもの難しい課題をクリアして、掴み取った栄冠です。富士スカウト章はボーイスカウトの進歩課程で最高位のものであり、今年度は東京連盟で28名のみの受賞となりました。しかし、一人だけで独自に課題に取り組むことはできません。また、隊会議や数多くの面接を通して、スカウトの仲間達や関係者から優秀なスカウトとして認められなくてはなりません。



今回、富士スカウトになった福田陽介くんは、カブ隊、ボーイ隊の後輩スカウトや地域の方々に対して奉仕活動を積極的に取り組みました。仲間と共に奉仕にあたる中で、他者を思いやり、真摯に向き合う姿は多くの関係者から高い評価を受けていました。

高校生、そしてベンチャー隊スカウトとしての3年間で大きく成長した彼の今後に注目です。最後に福田くんからのコメントです。

☆☆

こんにちは。今年度、富士スカウトに進級致しました福田陽介です。私は小学校5年生の時に中野8団に入団しそこからボーイスカウト活動が始まりました。入団当初は何も分からず、キャンプなどでも足を引っ張ってばかりで、いろいろな人に迷惑をかけていたスカウトでした。特に、ボーイ隊の時には当時班長であった小倉知樹スカウト（現、ローバースカウト・ボーイ隊副長補）に大変お世話になっていました。その後、私がボーイ隊の班長になり活動をしている時、先にベンチャー隊に上進した小倉スカウトが中野8団で初めて富士スカウト章を取得したと聞きました。ここで私の考えは変わりました。私も富士スカウト章を取得してやると思うようになりました。



ベンチャー隊に上進し、プロジェクトに苦戦しながらでも、8団の多くの方々のご協力があったおかげで乗り越えることができました。その結果、最高位である富士スカウトになることができました。これからは富士スカウトとして中野8団に大いに貢献できるリーダー、スカウトを目指して活動をしていきたいと思います。

ベンチャー隊 福田陽介



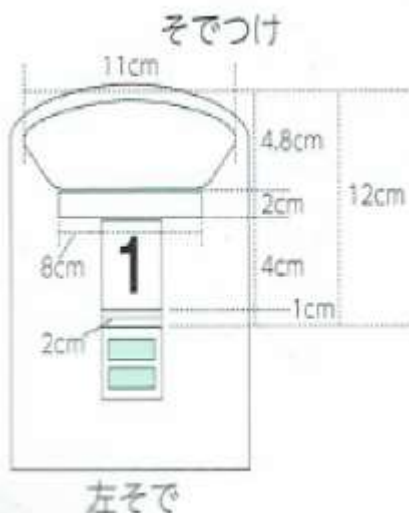
ちよつぽつといと

活動で見つけたほのぼの話

4月から上進するスカウトは新しい制服になります。カブスカウト、ボーイスカウトの制服の左袖には、所属連盟章、所在地名章、団号章を並べて付けます。接着剤でもつけることもできますが、取り外すと布地に跡が残ってしまいますので、縫着するようにしましょう。図にはミリ単位まで

位置の指定が書いてありますので、きちんと合わせるようにしてください。所属連盟章は肩目に合わせ、所在地名章と団号章を隙間をあけないように付けていけば、自然にこの図のようになります。

♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪♪



リーダーの活動

- 2/3 団会議
- 2/11 地区登録審査会
- 2/11 地区新春リーダーの集い第1部
- 2/11 地区新春リーダーの集い第2部
- 2/16 WB 研修所事前課題研修会奉仕
- 2/17 団委員長面談
- 2/22 地区委員会
- 2/25 各種委員会と袖の縫い



*活動の写真はホームページにアップされています。
*個人情報保護の為パスワードがかかっていますので、隊長にパスワードをご確認の上、アクセスして下さい。

<http://bsn8.world.coocan.jp/>

スカウト互知識

「スカウト活動のシンボル:制服」

スカウト活動には、さまざまなシンボルが用いられています。他の青少年活動とは違う独特のもので、いくつかのシンボルの中から特徴的な制服について紹介しましょう。

日本だけでなく、世界中のスカウトが制服を着ていますが、その歴史をたどると創始者ベーデン＝パウエル卿が軍務についていたときに描いておいた「野外で活動するとき、最も便利だと思われる衣服のスケッチ」から、スカウティングのあらゆる場面にふさわしく、健康的で、快適で、経済性を目指しているものとして多くの国々で適用できる服として案出されたものがベースとなっています。現在、世界中のスカウトの制服には、数多くのデザインや色が使われていますが、根幹をなしていることは次の通りです。

「スカウトであるというあかし」「世界のスカウトがそれぞれの環境や特性を生かしながら、同じ「ちかい」をたて「おきて」を守る兄弟として、仲間意識を体感して、強固にするため」「野外を主とした活動において、活発に活動できるようにするため」「制服を清潔に正しく着用すること、すなわち記章・標章を正しい位置につけ、身だしなみのよさや自尊心を養うこと」「社会のスカウト運動に対する信頼を、制服を着用することで高めるため」

このように「友情」「自信」「信頼」の象徴となる制服に多いに誇りを持ち、正しく着用することを心がけて欲しいと思います。

また、リーダーは「スカウトは制服を着ているときだけがスカウトではない」といわれるように、制服を着ている時と同じ気持ちが身に付き、スカウトらしい行動をいつもとれるようになって欲しい、という願いを持って指導に励んでいます。